

平成29年度 徳島県ふるさと・水と土保全対策懇話会 会議録

1 日 時 平成30年3月1日（木） 午後1時30分から午後3時まで

2 場 所 徳島グランヴィリオホテル 2階「蓬莱」

3 出席者

【委員】坂口委員，田中委員，西崎委員，山部委員，上家委員，麻植委員代理（矢野委員の代理），（欠席：林委員）

【県】農山漁村振興課長，中山間・鳥獣害対策担当室長，中山間対策担当2名

4 懇話会次第

1)あいさつ

2)自己紹介

3)協議内容

①ふるさと水と土保全対策及び棚田地域等保全対策の概要について

②平成29年度の事業経過について

③平成30年度の事業計画について

④意見交換

⑤その他

5 会議録(事務局説明の後，坂口委員の進行による意見交換の内容を記録)

委員：農林漁家民宿の件数や宿泊者数が増えている。現在，「にし阿波地区」が世界農業遺産に申請しているので頑張ってほしい。

県：外国人の観光客が増えつつあることから，農林漁家民宿のインバウンド対応について研修を行う等，しっかりとサポートを続けていきます。

委員：鳥獣害対策については，サルはなかなか難しいがイノシシ，シカはかなり減ってきたと感じている。

県：有害捕獲の効果が出ていると思います。これからも鳥獣被害予防モデル集落の育成やモンキー犬の導入等を行い、効果的な鳥獣害対策対策を続けていきます。

委員：地区内に新しく農業に携わりたいという人がいるが、そういう人にサポートはしていただけるのか。

県：さまざまな制度があるので、支援策や農業技術の取得についてご紹介をしたいと思います。

委員：ふるさと水の土指導員として活動しているが、地元の活性化のために景観整備として「アジサイ」の作付けを考えている。何か支援策はないか。

県：ふるさと水と土指導員であれば「ふるさと水と土活動支援事業」を活用いただけます。受益者からは、使いやすいという評価を得ています。また、受益者が活動内容を紹介する「ふるさと水と土指導員研修会」を実施し、実施した事業内容について情報交換を行っていただいております。

委員：新聞報道等で棚田の田植えや収穫等の記事をよく読むようになった。私の地区にも多くの棚田があるが、維持についてはかなりの重労働である。

県：今年度、「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業」で上勝町「檜原の棚田」では棚田の補修作業、三好市井川の「下影の棚田」では鳥獣防護柵の設置を行っております。どちらの活動も多くの企業等のご協力をいただきました。来年度以降も続けていきたいと考えています。また、「あわの農山漁村（ふるさと）魅力創生事業」では、棚田の保全・活用活動を支援する制度があります。

委員：県外からの移住希望者、特に定年後に徳島県の中山間地域に帰って農業をしたい人はかなりいると思う。上手に誘導する方法はないか。

県：例えば、「とくしま農山漁村（ふるさと）応援し隊事業」で徳島県となじみのある県外企業等と協定を結び、参加者に協働活動を通じて中山間地域の魅力に触れてもらうというのはどうでしょうか。